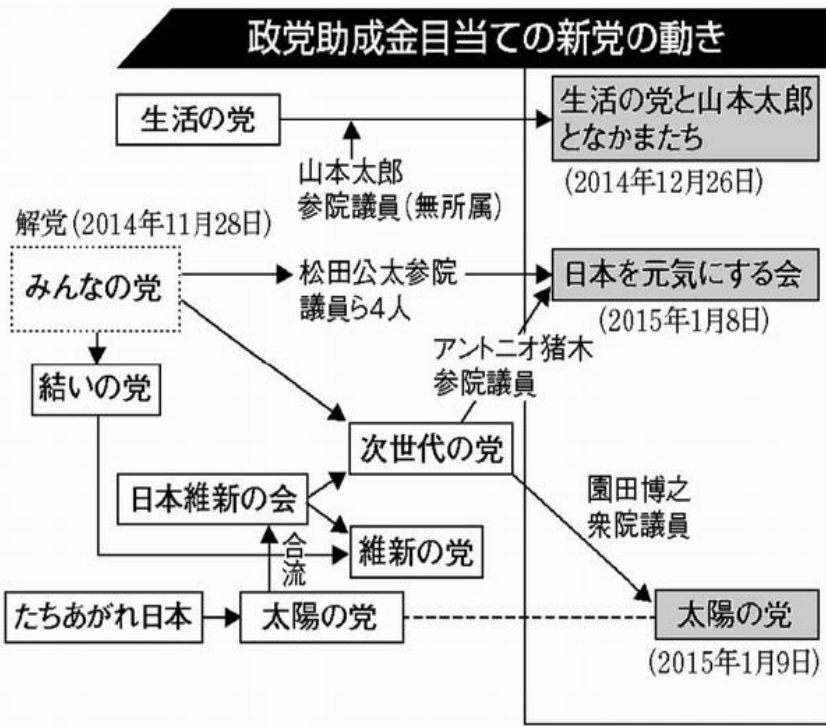


# 政党を墮落させる 政党助成金の廃止を！

## お金目当て 駆け込み新党

年間320億円にのぼる国民の税金を政党が山分けする政党助成金を目当てにした、駆け込み新党結成が相次いでいます。政党助成金制度開始から20年。理念も政策もない離合集散、政党の墮落が進んでいます。

昨年12月26日には、総選挙で議席を減らし「国会議員5人以上」という政党助成金の受給要件を失った「生活の党」に山本



太郎参院議員(無所属)が合流して「生活の党と山本太郎となかまたち」が結成されました。今年に入ると、昨年11月に解党した「みんなの党」の松田公太参院議員らと、「次世代の党」を離党したアントニオ猪木参院議員が合流して「日本を元気にする会」の結党届を提出(8日)。続けて次世代の党の園田博之衆院議員が「太陽の党」に「移籍」(9日)

し、助成金の受給要件を取得しました。

### 目まぐるしく

年末にこうした駆け込みが相次ぐのは、政党助成金の受給資格が、毎年1月1日の時点で「国会議員5人以上」か「国会議員1人以上以上で国政選挙の得票率2%以上」という政党要件を満たしているかどうかで決まるからです。1月1日を過ぎても1月16日までには届け出れば、1日の基準日に要件を満たしたと扱われるために、年明けにも駆け込みが続くのです。

みんなの党解党後、松沢成文参院議員は次世代の党に駆け込み、その一方で、アントニオ猪木議員は次世代の党を離党して、元みんなの党の議員らと新党をつくるという目まぐるしさ。まさに有権者不在で助成金目当てに政党・政治家の離合集散が繰り返されるといいう、政治の劣化極まりの状況です。

しんぶん赤旗より

## 新成人に祝辞 共産党 藤井みえ子市議が呼びかけ 一緒に 平和な日本を作ろう

雪がちらつく12日、市立クレアホールにおいて「草津市 成人の日 記念式典」が開催され、936人の新成人が出席。若者を取り巻く厳しい環

境のなかでも、久しぶりの友人との再会など、希望ある未来を希求する熱気でつまれました。日本共産党草津市議団も会場の内外で新成人に祝

辞。藤井みえ子市議が「いっしょに平和な日本を作ろう」と呼びかけました。



会場の外では滋賀県平和委員会や母親連絡会など、平和を願う民主団体がチラシを配布しながら、集団的自衛権容認など、若者を戦場に送る企てに反対し、平和憲法を守ろうと訴えました。

一方で式典終了後、帰途に就く新成人に、大川隆法氏の書籍(税別2千円)を配布する団体もありました。



エッ! どうやって持つ?  
片方 穴が開いてない!?

### 市民から苦情! ごみ袋 欠陥品出回る

<http://kusatu.jcp-web.net/>

久保あきお  
草津市青地町 975-9  
077-567-8604

### くらし・福祉・教育

篠原とも子  
草津市矢橋町 7-102  
077-532-2012

### 身近な生活相談所

藤井みえ子  
草津市南山田 468-2  
077-562-9822